ＳＴＬ	アンダーライン開始及びモザイク分離化開始	この符号以降の表示においてモザイクＡ及びＢの場合は合成を行わず、ノンスペーシング及び合成制御による合成中にモザイクが含まれる場合は合成後、分離化処理（モザイク素片を表示区画の横方向１／２縦方向１／３の大きさの小素片に区分し、それぞれの周辺部に間隔を設ける処理を行うこと。）その他の場合は、アンダーラインを付加すること。 アンダーラインは、標準の表示区画の高さの１／24（欧文横書書式においては１／10）の幅で表示区画中の最下位置に付加するものとする。 この符号は、横書書式及び欧文横書書式が選択された場合に限る。
ＳＰＬ	アンダーライン終了及びモザイク分離化終了	この符号によりアンダーライン付加及びモザイク分離化処理を終了すること。
ＨＬＣ	囲み制御	パラメタＮ１（１バイト）により囲み開始及び終了を指定すること。 ＨＬＣ　04／０：囲み終了 ＨＬＣ　04／１：囲み１開始 ＨＬＣ　04／２：囲み２開始 ＨＬＣ　04／３：囲み３開始 ＨＬＣ　04／４：囲み４開始 ＨＬＣ　04／５：囲み５開始 ＨＬＣ　04／６：囲み６開始 ＨＬＣ　04／７：囲み７開始 ＨＬＣ　04／８：囲み８開始 ＨＬＣ　04／９：囲み９開始 ＨＬＣ　04／10：囲み10開始 ＨＬＣ　04／11：囲み11開始 ＨＬＣ　04／12：囲み12開始 ＨＬＣ　04／13：囲み13開始 ＨＬＣ　04／14：囲み14開始 ＨＬＣ　04／15：囲み15開始 囲み制御は、表示区画内の外側の４辺からなる枠を付加する制御を行う。 枠を付加する辺の指定はパラメタＮ１のｂ４からｂ１で指定する。ｂ１により次の行の側の辺を、ｂ２により次の字の側の辺を、ｂ３により前の行の側の辺を、ｂ４により前の字の側の辺を指定し、各々「１」の場合に枠を付加し、「０」の場合は、枠を付加しない。囲みの線幅は横書書式では標準の表示区画の高さの１／24の幅、縦書書式では高さの１／20の幅及び欧文横書書式では高さの１／10の幅とする。
ＣＳＩ	コントロールシーケンスイントロデューサー	符号系拡張のための符号

注　色指定において、半輝度指定の表示輝度レベルは、同一色の最大輝度指定の表示輝度レベルの80%以下とする。また、スーパー固定表示モード、字幕表示モード及び一行横スクロール表示モードでは前景色半輝度白の着色指定は使用しない。

別記第12　拡張制御符号（ＣＳＩ）

キャラクタ	制御機能	制御内容
ＳＷＦ	書式選択	パラメタＮ１（１バイト）、Ｎ２（１バイト）、Ｎ３（１バイト）により書式を選択し、初期化動作を行うこと。 ⑴　ＣＳＩ　03／０　02／０　05／３：標準密度の横書 ⑵　ＣＳＩ　03／１　02／０　05／３：標準密度の縦書* ⑶　ＣＳＩ　03／２　02／０　05／３：高密度の横書* ⑷　ＣＳＩ　03／３　02／０　05／３：高密度の縦書* ⑸　ＣＳＩ　03／４　02／０　05／３：欧文横書*
ＣＣＣ*	合成制御	パラメタＮ１（１バイト）、Ｎ２（１バイト）、Ｎ３（１バイト）により文字及びモザイク等のパターンの合成制御を指示すること。 ⑴　ＣＳＩ　03／２　02／０　05／４：ＯＲ合成開始 ⑵　ＣＳＩ　03／３　02／０　05／４：ＡＮＤ合成開始 ⑶　ＣＳＩ　03／４　02／０　05／４：ＸＯＲ合成開始 ⑷　ＣＳＩ　03／０　02／０　05／４：合成終了 合成開始（ＳＣＣ）と合成終了（ＥＣＣ）の間に使用できる符号は別記第６の第４欄に示すとおりとする。

注　初期の表示書式とその後選択可能な表示書式との関連は、次のとおりとする。

初期＼選択	標準密度の横書	標準密度の縦書	高密度の横書	高密度の縦書	欧文横書
標準密度の横書	○	○	×	×	×
標準密度の縦書	○	○	×	×	×
高密度の横書	×	×	○	○	×
高密度の縦書	×	×	○	○	×
欧文横書	×	×	×	×	○

別表第二十一号　ジオメトリック図形表示による図形の符号化

項目	符号化の内容
１　ジオメトリック図形表示による図形の符号集合	ジオメトリック図形表示による図形の符号集合は、図形記述命令符号集合、ジオメトリックマクロ符号集合、Ｃ０制御符号及びＣ１制御符号とし、それぞれ八単位符号表のＧＬ符号領域、ＧＲ符号領域、Ｃ０制御符号領域及びＣ１制御符号領域に呼び出すものとする。
２　図形記述命令符号集合の符号化	図形記述命令符号集号の構成は、別記第１に示すとおりとする。 図形の記述命令（コマンド）は、オペコード及びこれに続いて送出される０又１以上のオペランドにより行われる。 オペコードは命令の種別を示し、オペランドは命令の内容を示す。
⑴　オペランドの構成	⑴　各コマンドごとのオペランド構成は、別記第２に示すとおりとする。 ⑵　固定オペランド長は、１バイト以上とし、オペコードにより指定する。１価オペランド長は、１から４バイトとし、ＤＯＭＡＩＮにより指定する。多価オペランド長は１から８バイトとし、ＤＯＭＡＩＮにより指定する。オペランドの構成は、座標値の指定を行う場合別記第３に示すとおりとし、色の指定を行う場合（ＳＥＴ　ＣＯＬＯＲ）別記第４に示すとおりとする。座標は、ユニットスクリーン上の座標とし、正の値は２進小数値、負の値は２の補数により示す。